



ゆくて遥かに

令和元年 10月15日 (火)

第78号

長野県松本深志高等学校長

台風19号猛威をふるう (10月12日)

大型で非常に強い台風19号が12日夜に静岡県に上陸し、関東地方を直撃しました。長野県内にも、氾濫した千曲川が流れる東北信を中心に、甚大な被害の爪痕を残しました。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。幸い、学校の方は建物に被害はなく、新たに雨漏りが2箇所見つかった程度で済みました。また生徒や職員から被害の情報も現時点で入っていません。気象予報の精度が上がり、事前に様々な情報が学校にも入ってくる時代です。高校にとっては、公共の交通機関がどうい



恩師の講話、当時の先生が4名お見えになりました

う状況かが、休校にするかどうかの重要な判断材料ですが、最近では計画運休を前日までに発表してもらえるようになり、早めの決断ができるようになりました。本校は土曜授業の日で、授業は一般の方々に公開する予定でしたが、公開については早々に中止(代替として26日を公開します)を発表、あとは「授業をどうするか」だけでした。この日は、深志21回の皆さんの卒業50周年の記念式典が予定されていて、3時限は21回生を代表して

11名の方々に1年生対象の特別講義を行っていただく計画でした。事前に配られた案内では、皆さんが活躍されている分野は多岐に渡っていて、深志の底力、多様性、層の厚さというものも改めて実感する内容。生徒たちにとっては身近な先輩の話、自分自身のこれからのキャリアを考えていくうえで、大いに参考になり、刺激を受けたらと思います。誠に残念な思いですが、休校の判断をせざるを得ませんでした。用意していただいた資料は生徒に配布し、少しでも講師の皆さんの思いを生徒に届けたいと思います。なお、式典は予定どおり行われ、母校へのご支援もいただきました。悪天候にもかかわらず80名を超える皆さんが参加されて、21回生の結束力・絆の強さを感じるとともに、温かな雰囲気でもとても居心地の良い会となりました。ありがとうございました。

あの頃の心の旗は、
まだ風の中ではためているか



2019年10月

松本深志21回生
卒業50周年記念事業実行委員会

生徒の活躍 (高校化学グランプリ、中高生記者米国取材)

全国高校化学グランプリの東海支部予選に参加した者の中から、特に成績優秀な生徒を表彰する制度があります。今年も、東海支部長賞に3年の石丸くんが、東海支部奨励賞に3年の宮坂くん、土屋くん、永原さんがそれぞれ選ばれ、8日の昼休みに校長室で賞状を手渡しました。東海支部(愛知・岐阜・三重・静岡・

長野)の高校の、化学に興味関心と自信を持つ精鋭たちが集まる大会、その中で優秀な成績を収めることは並大抵のことではありません。4名はいずれも、将来の学びや職業選択に生かしたいと話してくれました。一方、長野県新聞販売従業員共済厚生会の学生派遣事業で、県内の中学・高校生20人が7月28日～8月4日、米国のワシントン



DC、ニューヨークを訪れましたが、本校から2年の松倉くんが参加しました。海外に行ったことなく英語力不足を痛感した一週間だったそうで、多様性を体感、考え方や視野が広がり世界の広さをもっと知りたい、と思うようになったとか。5人のチャレンジ精神に心から敬意を表します。

2年調理実習美味しくいただく（10月8日）

松本市の食生活改善推進員の皆様のご協力を得て、2年生家庭基礎の調理実習が行われました。松本市から卒業生向けに提供していただいている「新生活応援レシピ集」を参考に実習献立を組んだそうで、「ひとりでも簡単にできる日本型食生活メニュー」として、ご飯、豚のしょうが焼き+グリーンサラダ添え、簡単ピクルス、具たくさんみそ汁、杏仁豆腐といったメニュー。生徒からは、「普段自分で料理をすることがないので、分かりやすく教えていただいてよかった」「手際よく作るコツを教えてもらえてよかった」などという感想が多く出されていたそうです。私もお相伴にあずかるという僥倖に恵まれ、大変美味しくいただきました。



その他の話題をいくつか

★ 第16回ビブリオバトルゼミが9日の放課後、図書館で行われました。前の週の2日に「ビブリオトーク～あなたの推しをゆるっと語ろう！～」と題して、ウォーミングアップ的な催しを開いた図書委員会、工夫の跡が感じられます。今回は4名のバトラーが発表し、結果、1年の瀧澤さんが推した「まほろ駅前番外編（三浦しをん）」がチャンプ本に選ばれました。今回のバトラーは全員、10月20日に開かれる全国大会の予選に参加できるのだそうです。



★ 7日の放課後、応援団管理委員会の生徒たちが小林有也先生の胸像をキレイにしてくれました。本校の前身である松本中学の初代校長の有也先生、30年もの長い間、松本中学の校長を務められましたが、その間、勉強以外の学校生活のことは生徒たちが主体的にルールをつくり、自分たち自身で判断する校風をつくっていきました。それが現在の自治の精神、自由な校風につながっています。御三訓を遺し、本校の象徴的な存在でもある有也先生の胸像、大事にしなければ……。

★ 9日の放課後、「特別支援教育の現状と教育支援について」と題した職員研修会を行いました。講師は松本市教育相談員の藤松昭彦氏。インクルーシブ教育を進めていくためには、合理的配慮が適切に提供される必要があります、学校全体での特別支援教育の充実を目指した体制づくりが求められている、とのご指摘。高校にとって重要な課題の一つです。

今週の予定（B2）

日	曜日	行事等	その他(主に校長動向)
15	火	学年会	
16	水	職員会（職員集合写真撮影）	
17	木	3学年集合写真撮影	入学者選抜学校別説明会
18	金		高校教育課用務
19	土	記述模試（3年）	31回生卒業40周年式典
20	日		長野県高校生プレゼンテーション大会
21	月	(A2) 学年会	中高校長代表者会